

10月24日(土曜日)「祈りは答えられる」

【新改訳 2017】

ルカ 11・9、10

「わたしは、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであっても、……受け……
見つけ出し……開かれます。」

ここには、神への祈りは必ず聞かれるという真理が強調されています。10節では、「だれであっても」祈る者はその答えを得ると明言されています。

主はこの前後に、それぞれ例を用いながら、大切なことを教えられています。前のほうの例は、旅の途中に友人を訪ねてパンを求める話です。その時、友人であること以上に、「あくまで頼り続けるなら、与えられるでしょう。」という話です。「あくまで祈り続ける」ことの勧めです。後のほうは、子どもが親に求めるなら、「悪い親であっても良い物を与える。」ことを例に挙げています。だとすれば、父である神はなおさら、聖霊を与えてくださらないはずがないというのです。信じて、祈り求め

ましよう。

～祈り～

主よ。「あくまで祈り続ける者」となり、何事にもあなたのお答えをいただけるように助けてください。御霊で満たしてください。

【学びのために】。

ルカ 11・5-8、11-13 をいっしょに読んでくださると、よくわかります。「あくまで頼み続ける」と「なおのこと」に注意しましょう。あきらめられないで祈ることです。